

栄東地区まちづくりビジョンとは

未来会議では、令和2年5月に今後10年間のまちづくり指針として“栄東地区まちづくりビジョン”を策定しました。この中で、「安全安心に暮らせるまち」「子どもが健やかに成長できるまち」「高齢者が安心して暮らせるまち」の3基本目標を定め、市から栄東まちづくりセンターの運営を受託したことによる地域交付金を主な財源に活動を進めています。

●未来会議の三大事業

■雪まつりウエルカム事業

雪まつりつどーむ会場に来場する市民や観光客を歓迎・おもてなしするために、地域住民や地元企業が参加して、中雪像や雪だるまを制作。また、期間中は地下鉄栄町駅構内でウエルカム横断幕の掲示を行い道案内等を実施。



■栄町花いっぱい事業



地下鉄栄町駅周辺の景観美化と不法駐輪防止を目的に、地域の高齢者や子ども、地元企業が参加し、花苗を植えたプランターを歩道に設置。日頃の水やりや手入れを通して地域の絆を深める。

■ひのまるちびっ子なつまつり

民生委員・児童委員などが中心になって、連合町内会、青少年育成委員、児童会館、小学校、幼稚園、つどーむなどが連携協力し、創り上げたひのまる公園を会場にした夏の一大イベント。



安全安心に暮らせるまち



まちづくりの3目標



子どもが健やかに成長できるまち



高齢者が安心して暮らせるまち

●未来会議の主な新規事業

防災体制構築事業

北海道胆振東部地震を教訓に、大災害時に対応できる地区の防災体制を構築

地域の伝統行事復活プロジェクト事業

子どものまちづくり参加を促しながら、夏まつり、盆踊り、ラジオ体操などのかつての地域の伝統行事の復活を目指す事業

子どもたちのレクリエーション事業

子どもたちの健全育成を目指して、移動動物園、夏休みバスツアー、雪中運動会などのレクリエーション事業

ICT活用による情報発信事業

ホームページやSNSの情報発信を活発化し、地域情報のICT化を推進

高齢者等健康づくり事業

高齢者が健康で安全安心に暮らしていけるように、健康づくりや居場所づくりを推進

